

名古屋アイリスロータリークラブ
 RID2760 THE ROTARY CLUB OB NAGOYA IRIS
 ～ 世界へのプレゼントになろう Be a gift to the world ～
 2015-16 年度国際ロータリー会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン
 例会日：毎週水曜日 13:00～14:00
 例会場：ANA クラウンプラザ グランコートホテル名古屋
 創立：2013 年 6 月 5 日
 会長：安井 忠 「楽しく・深く理解するアイリス」



- 斉唱 我等の生業
- 司会 村田 実樹 会員
- 出席者報告 出席者数 27 名 / 会員数 37 名
出席率 73.0%
前々回(第 130 回)修正出席率は 73.0%(27/37)

■ ビジター・ゲスト
 名古屋北 RC 特別代表 浦野 三男 様
 紫堂 恵様 (朗読家)
 島村幹事夫人

■ ニコボックス報告

安井 忠 会長

今日も元気です。そして紫堂 恵様をお迎えして楽しい話を頂きます。ご紹介いただいた島村夫人有難うございます。

櫻井 孝充 会長エレクト

紫堂 恵様アイリス RC へようこそおいでくださりました。本日は楽しみにしております。感謝

島村 恵三 幹事

紫堂 恵様、アイリスへようこそ。本日の卓話宜しくお願ひします。また本日は紫堂様の付き添いで家内も例会に参加させていただきます。

安井 嗣博 会員

昨日の夜もこの部屋で会合でした。

深見 和久 会員

先週の土曜、細川さんが理事をつとめている瑞陵 CC

へ行ってきました。桜も満開、スコアも満開で楽しいひと時でした。細川さん有難うございました。

■ 委員会報告

前回の例会でお伝えしましたが、3月に安井会長と安井嗣博会員よりロータリー財団と米山記念奨学会へのご寄付を頂いております。ロータリー財団からは認証のバッジが、米山記念奨学会からは感謝状が届いておりますので贈呈させて頂きました。

安井忠会長：マルチプルポールハリスフェロー
 安井嗣博会員：第 1 回米山功労者



■会長挨拶

花王が2004年に制定した企業理念「花王ウェイ」の中の「基本となる価値観」には「よきモノづくり」「耐えざる革新」と並んで「正道を歩む」が盛り込まれている。この言葉は創業者・長瀬富郎の遺言に由来するものである。

1863年現在の岐阜県中津川市で生まれた長瀬は11歳の時に母親の実家である若松屋に奉公に出た後「商法の基を立てる」ために23歳で上京している。独立資金を稼ぐために長瀬が試みたのが米相場だった。最初こそ「損益なし」だったもののその後見込み違いの売買で失敗無一文の状態に追い込まれた長瀬はいったん独立の夢を諦め日本橋馬喰町の洋小間物問屋に入店番頭として帳場を任されるまでになっている。

この時代に培った信用と実績を基準に1887年23歳の長瀬は洋小間物問屋・長瀬商店を開業石鹸入れ西洋文房具などの卸売りと小売りを始めている。当時扱っていた石鹸の多くは外国製であり国産石鹸もあるにはあったが「顔を洗うと皮膚を傷める」と言われるレベルだった。

米相場の失敗を経験している長瀬の経営は堅実なもの。

創業初年から利益を出した長瀬はやがて舶来品に劣らない国産石鹸の製造に強い関心を持つようになり石鹸職人・村田亀太郎の協力を得て夢の現実に乗り出す事になった。

1890年満足のいく品質の石鹸製造に成功した長瀬は花王石鹸(「香王石鹸」から名称変更)を発売。価格は輸入石鹸よりも高価だったがそれだけ長瀬は「顔を洗える国産の優良石鹸」への強い自信を持っていた。

その後長瀬は全国規模の販売ネットワークづくりや新聞広告を中心とした広告宣伝活動に努め花王石鹸の他歯磨き粉や化粧水の製造にも乗り出し日本人の生活向上に大きな貢献をすることになった。

1909年病氣療養に入った長瀬は長瀬商店を合資会社に改組するとともに家族や親戚を集めて次の様

な遺言を残している。

「人は幸運ならざれば非常の立身は至難と知るべし、運は即ち天佑なり天佑は常に道を正して待つべし」戦後長瀬商店は花王石鹸を経て花王となったが長瀬の言葉は今も企業行動の原点として大切にされている。

正に四つのテストを地で行なった様な花王の社訓であります。

価値観と物作り革新と正道を歩むが花王の企業理念であります。

私達も決して出来ない事ではありませんがややもすると気持ちがゆるんでしまい人の道商売の並から外れやすくなります。



■卓話

紫堂 恵様 (朗読家)

Hybrid Aichi の魅力

-古代・あゆちの豊饒と今-

のテーマで卓話と朗読をお聞きました。





■その他

今日のスープは大変おいしくいただきました(^^) /



以上